



**主 題**

- ク ラ ブ (主 題) “Let’s become shining Y’s Men!”  
「輝くワイズメンになろう！」 奥田 時夫 会長
- 国 際 (主 題) “Be the light of the world”  
「世を照らす光となろう」 Philip Mathai (インド)
- ア ジ ア (主 題) “ Years bring wisdom”  
「歳月は Y’s をワイズ (賢者) にする」 Oliver Wu (台湾)
- 西日本区 (主 題) “Let Y’s men Light Shine before Others In the club, in the community, in the world”  
「先頭に立ってワイズの光を輝かそう クラブで、地域で、国際社会で」 成瀬 晃三 (名古屋)
- 中 西 部 (主 題) “Let’s nurture Y’s dynamic spirit!”  
「ワイズの活力を育てよう」 江見 淑子 (大阪なかのしま)

**聖 句**

愛は寛容であり、愛は情け深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。不義を喜ばないで心理を喜ぶ。そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。 コリントへの第一の手紙 第13章 4~7

**世の中、便利になりすぎて**

岩田 晋

朝晩の通勤時の光景がすっかり変わってしまった。光景と言うよりは人の姿と言った方が適切かも知れない。ケータイ電話に続いて出現した、「スマホ」なる文明の利器に魅了され、電車を待つ間、プラットホームで、さらに電車の中でも、小さな画面を指先で器用に動かし、ただひたすら睨めっこをしているのである。真夏の太陽がジリジリ照りつける先週の昼下りのミナミの街の歩道で若いご夫婦がバギーを挟んでスマホの操作に夢中なのである。バギーの赤ちゃんは、さも眩しそうに目をあけて、若いパパママの顔を見比べるような顔をしていた(ように見えた)。その横を通り過ぎてから、振り向いてみたが、若夫婦は相変わらず文明の利器に夢中であつた。若い人から「ケータイなんてもう古いんですよ」と言われてみても、戦中生まれの者にとってはケータイこそが最新の文明の利器のように思える。これ以上の新しい利器の必要性は余り感じない。ただハッキリと言えることは、階段の昇り降りの時も、歩いている時も小さな画面に吸い付くように目をこらしている姿を見る時、こちらがハラハラして、果たしてこれでいいのだろうかと思ってしまうのである。戦中生まれの者には、さほど必要性を感じないから、スマホの魅力はわからないが、電車内での通話によるハタ迷惑に比べれば、周囲に実害はないかも知れない。しかし、文明の利器が進歩すればするほど、何かが失われて行くような気がする。技術の発達で本当に便利な世の中になった。しかし、便利になった分、人と人の対話が減り、何かが忘れられてしまったように思うのは私だけであろうか。「モノで栄えて、心で滅ぶ」という言葉があるが、この意味をもう一度考えてみたいと思う。

**8月**

**例会プログラム**

**< 納涼例会 >**

日時：2012年 8月21日 (火) 18:30~20:20

会場：ラウンジ「翔」(Tel:06-6346-6351)

大阪市北区梅田3-4-5 毎日インテシオ3階

会費：5,000円

司会：岩原義則メン

担当：B班(岩原、北村、小森、水口)

- |                   |            |
|-------------------|------------|
| 1. 開会宣言・点鐘        | 奥田時夫会長     |
| 2. ワイズソング         | — 同        |
| 3. ゲスト紹介          | 司 会 者      |
| 4. 聖句朗読・メッセージ     | 灰谷隅夫メン     |
| 5. 食前感謝           | 灰谷隅夫メン     |
| 6. 乾 杯            | — 同        |
| 7. 晚餐と歓談          | — 同        |
| 8. 交流事業について       | 西日本区交流事業主任 |
| 9. フラで感じるアロハスピリット | 石田由美子さん    |
| 10. YMCA ニュース     | 小島英恵連絡主事   |
| 11. インフォメーション     | 岩原義則メン     |
| 12. 誕生日・結婚記念日     | 奥田時夫会長     |
| 13. YMCA の歌       | — 同        |
| 14. 閉会宣言・点鐘       | 奥田時夫会長     |

**8月の強調テーマ < Youth Activities >**

将来のYMCAとワイズを育てるための活動と支援をしましょう。

下村明子 Yサ・ユース事業主任(名古屋グランパス)

## 例会報告

工藤 義正

7月

## 役員会報告

岩原 義則

正面の会長席の上に掲示された“輝くワイズメンになろう！”紳士たれ！と書かれたプレートは奥田会長の今期の主題とスローガンです。今月は江見中西部長の公式訪問で、新旧会長の交代式、そして会員総会でもある重要な月です。開会にあたって司会者としての準備万端の岩田さんからは携帯電話のマナーモード切り替えなどのインフォメーションもあり緊張感を持ってスタートしました。うれしいことに今月は今村メン、メネットが昨年の5月の60周年記念の東日本大震災支援イベント以来、久しぶりに例会出席されました。お客様として中西部から江見部長以下、杉浦書記、大岸会計と入江(Yサ)、脇本(地域)、松本(ファン)、川岸(交流)和田(メネット)5人の事業主査さん、ビジターとしてなかのしまの生雲さん合計9名の参加があり、にぎやかな例会となりました。

食事の後、奥田、小森新旧会長が前に並び江見中西部長の司式で交代式が執り行われ、会長職が引き継がれました。クラブ会員総会は、生地議長が指名され、小森直前会長の前年度活動報告、会計報告、奥田新会長の今年度計画、会計予算案が審議され、承認されました。奥田新会長からは輝けるワイズメンになれるよう例会運営の見直し、雰囲気の良いスマートな例会を基本に EMC やその他の事業を進めたいとの力強い所信表明がありました。江見部長は標語に「ワイズの活力を育てよう」を挙げられ、クラブ間の協力をもとに部とクラブの活性化を図りたいとのことでした。各主査さんからもそれぞれの計画、目標が示されました。

目標に向かって変われるかどうかは実行が伴うかどうかにかかっています。本気で頑張りましょう。



日時：2012年7月24日(火) 18:30～ 場所：奥田事務所  
出席者：奥田会長、岩田、岡野、工藤、永井、灰谷、牧口、水口、岩原書記

## 報告事項

## 1. 7月キックオフ例会

[7月17日(火) 土佐堀YMCA会館904号室、会費:1500円]  
出席者:メンバー16名、メネット3名、功労会員及び広義会員2名、ゲスト・ビジター9名、メーキャップ0名。  
出席率:16/18=88.9%担当:地域奉仕事業委員会(生地委員長、奥田、工藤、只野)A班(岩田、工藤、只野、牧口)ココファント` 18,153円、ファント` (ホクショ) 10,000円

## 2. 会長交代式

3. クラブ会員総会 総会成立(出席者16名。定足数13名超)。活動報告・会計報告承認。

4. クラブ会計予算案 繰越金の修正を行い承認。

5. 会長挨拶 活動方針

6. 中西部キャビネット挨拶

## 協議事項

## 1. 8月納涼例会

[8月21日(火) 18:30~21:00、レストラン&バー「翔」]  
担当:B班(小森、水口、北村) 新人メンバー岩原、永井、牧口各メンは例会のまとめ役を担う。会費:5,000円  
内容:交流事業について、フラで感じるアロハスピリット  
ゲスト:西日本区交流事業主任 石田由美子メン(宝塚クラブ) 関西学院大学フラグループ「マハロ」

## 2. 中西部会

[9月15日 14:00~17:00 ホテルグランヴィア]  
メネットアワー11:30~13:30、  
中西部会 14:00~17:30 登録費:メン、メネット6,000円、メネットアワー1,500円(クラブ内申込締切8月15日、登録は奥田会長まで)

3. 大住畑当番制7月29日10時集合雑草抜き

4. YYフォーラム7月16日(月・祝)

5. 東日本大震災復興支援プロジェクト(中西部主管)を支援

6. クラブ年表のブリテン掲載について

ブリテンには掲載せず、別冊を検討する。

7. 九州北部豪雨による災害への緊急支援募金のお願い  
クラブから支援

## 泉北ワイズメンズクラブ30周年

岩田 晋

泉北に住んでいながら、泉北クラブを訪問したのは僅か一度だけ。高槻から泉北へ引越したばかりの頃、泉ヶ丘の教会で行なわれた例会に出席したものの、以来、クラブ訪問の機会はあっても、スケジュールが合わず、泉北知らずの泉北人になってしまった。会場は南海堺駅から0分の堺リーガロイヤルホテル。小島連絡主事も出席。もともこの地域は小島主事のホームグラウンドだから、あちこちから小島主事に声がかかる。記念式典は、美しいピアノの旋律とともに故人に思いを馳せる「偲ぶ」でオープニング。来賓は当地域の福祉関係の人が多く、会場では同時に「障がい者作品展」も開かれている。泉北クラブの幅広いネットワーク。地域社会の中にワイズがある。そんな思いを強くした。流暢ではなく訥々と語る刀鍛冶師の話は好感が持てた。他クラブを訪問すると得るところが多い。

中華料理の味はウワサ通り満足行くものであった。色々な点で「手づくりの暖かさ」を感じさせる祝会であった。

(6月23日)



泉北クラブ手づくりの「龍」が会場内を練り歩いた



フィヨルドで有名な北欧ノルウェーのスタバンゲルで今夏開催される第70回国際大会の様子をシリーズでお伝えします。第一回の今回は大会プログラムの概要です。クラブからは国際議員として岡野メンが参加します。

**会場** ノルウェー王国ローガン県スタバンゲル  
**8月1日(水) 大会前日**  
 フィヨルドクルーズ、石油施設見学、農場見学、ゴルフコンペなどのプレ大会プログラム。

**8月2日(木) 大会初日**  
 午前：登録開始、リハーサル  
 午後：大会式典、市長挨拶、燈火式、聖書朗読、開会宣言フラッグセレモニー、ワイズソング、歓迎の挨拶、国際会長・役員就任式  
 午後：基調講演「未来はいま」世界YMCA同盟総主事ヨハン・ウィルヘルム・エルトヴィック氏  
 夜：IPIPナイト「インターナショナル・カルチャー・フェスティバル」晚餐と各地域からのエンターテイメント

**8月3日(金) 大会2日目**  
 午前：礼拝、国際書記報告、次期国際会長スピーチ、フォーラム(1. RBM&TOFプロジェクト、2. YMCAパートナー、3. Toward2022, EMC&CS、4. メネット)  
 午後：フォーラム続き  
 夜：ホームディナー(地元家庭での晚餐) ジャズ礼拝



**8月4日(土) 大会3日目**  
 午前：全体会議(フォーラムフィードバック、ワイズのこれから)、地域会議  
 午後：フリータイム、観光、キャンドル工場見学  
 夜：IP ナイト「ノルウェー・カルチャー・フェスティバル」晚餐会とノルウェー伝統音楽ダンスと民芸

**8月5日(日) 大会最終日**  
 午前：聖日礼拝(ユース)、ユースコンボケーション報告、国際会長スピーチ、2014年国際大会(インド、チェナイ)アピール、大会講評、閉会式

## <アンニョン KOREA>

～韓国の石に見る日本～

岩田 晋

### 植樹記念碑が教えてくれたこと

2004年10月、Kさんの59年ぶりの韓国里帰りは実現したが、もう一点、希望があった。それは、Kさんが3年生まで通学した小学校を訪問することだった。「安良公立普通学校」が当時の名称で、今は「安良初等学校」と呼ぶ。日本統治下にあった当時、日本人子弟が通う学校は「尋常高等小学校」、朝鮮人子弟が通う学校は「公立普通学校」(後に国民学校と改称)と厳然と区別されていた。Kさんを尋常高等小学校に通おうとすれば、15キロ離れた町まで行かなければならない。バスもない時代である。Kさんは家から7キロのところにある普通学校に通うことになった。毎日、往復14キロの道は多くも発見や冒険があり楽しかったという。当初、言葉の不自由さの問題はあったが、それも次第に慣れ、楽しい友達も多く出来たと言う。遠足・運動会・臨海学校・芋掘り・松脂採りなど、学校での思い出は多い。Kさんが昔の思い出を語る時は急に饒舌になり、Kさんの口からは友達の名前がスラスラと出て来た。1945年8月15日、日本は敗戦。夏休みのさなか、周囲は急に慌ただしくなり、Kさん一家は日本へ帰ることになった。出発当日、村の人達が総出でKさん一家を見送った。

「トー オシオ」(また、いらっしやい)。Kさんがいつまでも覚えていた言葉である。学校の先生や友達に別れを告げることも出来ないまま日本へ帰国したKさんの心の片隅には、いつも「学校」があった。59年ぶりに母校訪問の夢を果たしたKさんの顔は紅潮していた。安良初等学校の校長をはじめ多くの先生に見送られ、私達は学校に別れを告げた。その時、玄関左側の植栽の脇に小さな碑石があるのが目に入った。植樹記念碑である。(この項続く)



Kさんが通学した当時の安良公立普通学校  
(昭和16年卒業アルバムより)

## 中西部EMCフォーラム報告

工藤 義正

この半年で中西部は2つのクラブが解散し、7月1日半年報では9クラブで144名に激減した。1クラブの平均人数は16名。この数字はその平均年齢を考えればはるかに数字以上の厳しいものであることは明らかである。そんな状況の中、7月16日、大阪YMCA会館で中西部主催のEMCフォーラムは開催され、米村謙一西日本区EMC事業主任(熊本むさし)も駆けつけていただき、また、阪和部から正野部長と三木EMC事業主査もご参加いただき、53名の参加があった。米村事業主任はまずはEMCのC(Conservationクラブの健全な維持・存続)そしてM(Membership・会員間の交流・親睦・会員増強)を重要視し充実した例会の開催や楽しい交流や親睦といった環境が整って初めて新会員獲得が成り立つとわかりやすく考えを示し、クラブの自己診断プログラムを使って、クラブの弱い点を明らかにして、取り組むべきとの話があった。その後、クラブ別グループに分かれ、自クラブの定例会、クラブ運営、人材育成など30項目のチェックをしながら、それぞれEMCを考える機会を持った。すべき内容は過去から今までに十分出ており、あとは実行に移すか、ただ言うだけに終わるのかが、クラブ発展か消滅の分かれ道になると思える。それは一人二人のメンバーではなく、クラブ全員が本気で取り組まないとできないことは確かであり、結果は5年以内に出ることは間違いない。



### 大住畑だより



わがクラブ名物の1つ！岡野さんと耕運機。玉葱収穫後の耕し。次は鳴門金時です。

## YMCA ニュース

### ■第232回大阪YMCA早天祈祷会

日時： 8月17日(金) 7:30~ 8:30

場所： 大阪YMCA会館10Fチャペル

証し： 岩坂 正雄 さん(元大阪YMCA副総主事)

参加費： 300円(軽食付き)

### ■大阪YMCA創立130周年 記念シンポジウム

日時： 10月27日(土) 第1部 13:00~

場所： 大阪YMCA会館

内容： 記念シンポジウム

East Asia Urban Network 締結式

130周年記念礼拝

周年記念パーティ (ザ・リッツカールトン大阪)

### ▽ 8月の予定

1~5日 第70回国際大会 ノルウェー、スタバングル  
21日(火)クラブ例会(18:30~) ラウンジ「翔」  
28日(火)第二例会・役員会(18:30~) 奥田事務所  
28日(火)ブリテン委員会(19:30~) 奥田事務所

### ▽ 9月の予定

15日(土)中西部会(14:00~) ホテルグランヴィア大阪  
18日(火)クラブ例会(18:30~) 土佐堀YMCA902号室  
25日(火)第二例会・役員会(18:30~) 奥田事務所  
25日(火)ブリテン委員会(19:30~) 奥田事務所

### ▽ 8月の誕生日おめでとう

24日 只野 準一 31日 奥田 時夫 小畠 英恵

### ▽ 8月の結婚記念日おめでとう

なし

<今月の題字写真> イソトマ 撮影：奥田会長。緑の葉に鮮やかな白い花が眩しい。暑い夏に爽やかな印象を残すが、汁には毒を持っているらしい。新会長のテーマ“スマートでカッコいい”少し毒がある方がカッコいい？(Y)

編集後記 夏本番！夏といえば夏休み！海、スイカ、ラジオ体操、アイスクリーム、虫取りにひと夏の～・・・なんて子供のときは夏を満喫していましたね～。体力をつけて夏を楽しみましょう！！(光)

7月例会出席者数		7月例会出席率		B	F	ニコニコ		TOS ファンド	
メンバー	16名	会員例会出席者	16名	切手	1,800pt	7月分	18,153円	7月分	10,000円
メネット	3名	メーキャップ	0名	現金	36,000pt			今期累計	62,900円
コメット	0名	合計	16名						
ビジター	0名	現会員数	20名						
ゲスト	9名	出席率対象数	18名						
出席者合計	28名	出席率	88.9%	前期合計	37,800pt	前期合計	101,238円	残高合計	1,251,844円